



AZABU ALPINE CLUB

AZABU ALPINE CLUB
ALUMNI NEWSLETTER

2023

麻布学園山岳部OB会
会報第24号 / JULY 2023

ごあいさつ

3年以上続いたコロナ禍も漸く落ち着いてきた感じのするこの頃ですが、会員の皆様はどの様にお過ごしでしょうか。昨年度のOB会活動は、理事会は殆どWebオンラインの実施となりましたが、山荘のリフレッシュデイ、3年振りの対面忘年会は、なんとか計画通り開催する事ができました。

ただ、現役部員の部活動は、この3年間大幅に制限されて合宿が殆どできなかった事等で、大きな後遺症が残ってしまいました。全ての部員の登山スキル、経験が同じレベルになってしまい、上級生から下級生に部活動・合宿生活を通して伝承していくという山岳部の伝統が途切れてしまいました。

今年度からは、また白紙の状態からの出直しです。顧問の先生方の協力を得ながら、現役部員達に一から山岳部員としてのノウハウ、スキル、伝統を、OBが伝承して行かなければなりません。会員の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

会長 太田弘一



活動報告

表紙写真は、1956年度春合宿・五龍岳遠見尾根～小田薫（S23）

この見開きの背景写真は、2010年立山にて～太田弘一（S47）

◆ オンライン総会の実施

去る5月27日にオンラインにて総会を実施したところOB18名、顧問の先生2名にご参加いただき、以下のとおり活動報告をしました。嬉しかったのは、ようやく面会できるようになった松宮さん(S46)が入院先から参加されたこと、アメリカのミシガンから三品さん(S52)が久しぶりに顔を見せてくれたことでしょうか。■



◆ 現役サポートは今

現役はようやく山に行けるようになり、冬に丹沢、春に大菩薩連嶺で合宿を組みましたが、テント泊はまだ解禁にならず小屋泊でした。OB会としてはルート選定のアドバイスなどをリモートで実施しています。■

◆ 山荘リフレッシュデイ

ハヶ岳山荘では10/15-16にリフレッシュイベントを開催し、水回り窓ふきなどの大掃除、薪割り、布団干しを実施。新たに布団乾燥機を導入、BBQ台を更新しました。今期はキッチン床の修繕を計画しています。■



◆ やっと！リアル忘年会

3年ぶりにリアル忘年会を企画したところ、昭和卒11名、平成卒8名、令和卒1名、特別会員3名の計23名のご参加を頂きました。■



◆ 会計報告

2022年度一般会計 (2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部		支出の部	
会費収入	140,000	会報作成発送	33,831
利息	2	ホームページ運営	7,946
		供花・弔電	47,920
		忘年会補助	8,000
		振込手数料	715
合計	140,002	合計	98,412

当期収支 ¥41,590 / 前期剰余金 ¥1,162,176 / 当期末剰余金 ¥1,203,766.

2022年度山荘会計 (2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部		支出の部	
山荘収入	214,580	水道光熱費	160,941
受取利息	8	支払保険料	26,060
		消耗品費	19,709
		固定資産税	56,600
		通信費	2,790
		支払手数料	1,155
		雑費	14,422
合計	214,588	合計	281,677

当期収支 ¥▲67,089 / 前期剰余金 ¥924,768 / 当期末剰余金 ¥857,679.

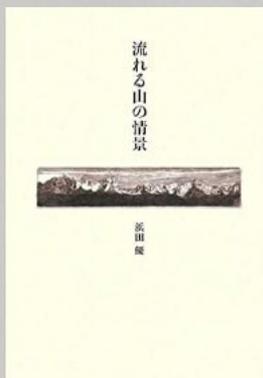
OB著書を巡る

昨年10月鬼籍に入られた鈴木順二さん(S46)のまさに絶筆「園芸のジャポニズム」(平凡社)が3月に出版されました。400頁をゆうに越える浩瀚な労作で晩年の研究の成果を残した読み応えのある一冊です。2019年9月にチャンネルYOUというケーブルテレビの番組「横浜ミストリー」に出演され、19世紀末のパリで活躍した日本人造園家・畑和助という今は歴史に埋もれてしまった人物の足跡を語っていたことが思い出されました。



そこでニューズレター今号では、会員の方々の著作をネットで渉猟しご紹介してみることとしました。

同じく昨年なくなられた、小倉董子さん(特別)は「女ばかり南米大陸をゆく」など自身の冒険譚のみならず登山のガイド本を多数出版されています。新しいものでは「知識ゼロからの山歩き入門」(幻冬舎2007)。山業界からみれば吃驚のハウツー本。門外の取っつきやすさから山ガールブームを牽引したと言ってもは盛りすぎでしょう。



古い本を探すと、飯島文男さん(S23)が共同執筆されたと思われる「カメラを始める人のために」(池田書店1966)があります。同じシリーズに「ドライブを始める人のために」という本にも飯島さんのお名前を見ることができますが果たしてご本人なのでしょうか。

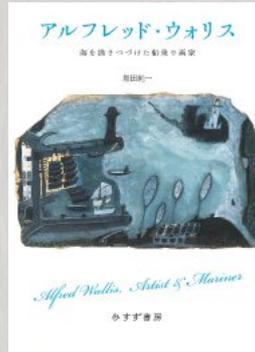
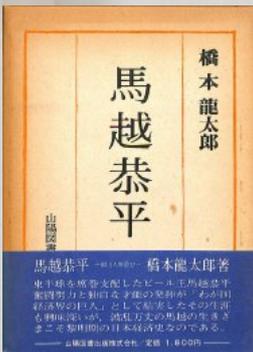
山に関する本を上梓している方は意外と少なく(雑誌への寄稿は多くありますが)、浜田優さん(S56)を見るばかりです。「流れる山の情景」(山と溪谷社2009)はAACのウェブサイトにコラムとして投稿頂いた文章もあり今でもサイトで読むことができます。もともとは詩作の人なので思潮社から作品集を世に問うています。詩といえば、伊藤栄康さん(S29)のお名前です。「詩集環」(昭森社1965)という素敵な一冊があります。岩燕に詩を載せている方ですから、多分ご本人でしょう。

山ではありませんが趣味を語っているのは、谷垣禎一さん(S38)。「自転車会議！」(東京書籍2009)でカーレーサーの片山右京氏やロードレーサー今中大介氏らと自転車の魅力を熱く語り合っているようです。

橋本龍太郎さん(S31)は同郷の政治家でありビール王の異名をとった経済人「馬越恭平」(山陽図書出版1976)の伝記をまとめています。

多作なのは、油井大三郎さん(S39)。最新刊「避けられた戦争 - 一九二〇年代・日本の選択」(ちくま新書2020)、毎日新聞アジア・太平洋賞受賞の「未完の占領改革 - アメリカ知識人と捨てられた日本民主化構想」(東京大学出版会1989)ほかご専門の現代史関係の本が多数あります。美術関連といえば塩田純一さん(S44)。「イギリス美術の風景」(ブリュッケ2007)ほか。新著の「アルフレッド・ウォリス」(みすゞ書房2021)は昨年10月に朝日新聞の書評欄で横尾忠則に紹介されました。

若いOBたちに目を向けると、最近目につくのは成田悠輔さん(H16)。「22世紀の民主主義」(SB Creative2022)など。同期の谷ローさん(H16)には、ステージネームである”ときど”名義で「世界一のプログラマーがやっている努力2.0」(ダイヤモンド社2019)などがあります。



そのほかご自身のお仕事や研究に関して専門書、論文や雑誌に掲載された文章は数えきれないほどあるので、誌面の都合で単行本を一冊ずつご紹介するにとどめます。神原達さん(S30)「中国の石油産業」(アジア経済研究所1991)、菅原道雄さん(S31)共著「自由時間社会の文化構造」(ぎょうせい1993)、大熊忠之さん(S35)「民道主義」(芙蓉書房出版2019)、神菌勝彦さん(S38)共著「応用力学演習問題と解説」(理工図書2007)、堀口正治さん(S40)「末梢神経解剖学 - 基礎と発展」(サイエンス・コミュニケーションズ・インタ1995)、中村仁さん(S56)共著「ジェイン・ジェイコブズの世界」(藤原書店2016)、木原均さん(特別)「砂漠と氷河の探検」(朝日新聞社1956)、近藤啓吾さん(特別)「靖献遺言講義」(国書刊行会1987)などなど。



そのうち八ヶ岳山荘の蔵書に加えていったらなどと思うところです。■

◆ 役員人事

役員任期2年満了に伴い次の通り選任されました。(2023/5-)

会長	太田弘一 (S47)	理事長	岩城達之助 (S55)
副理事長	小澤徹 (S59) 事務局長	理事	武藤光盛 (S42)
理事	太田高嗣 (S43)	理事	南谷達郎 (H2) 山荘委員長
理事	福井令似 (H6) 一般会計	理事	池永龍平 (H7) 山荘会計
理事	渡邊真之 (H24)	理事	頼 哲誼 (H26)
理事	牧元悠馬 (H28) サポート委員長	理事	土井遼太郎 (H31)
理事 (新任)	古川 賢 (R5)		
監査役	矢部博道 (S44)	監査役	森 美文 (S44)

会員 消息

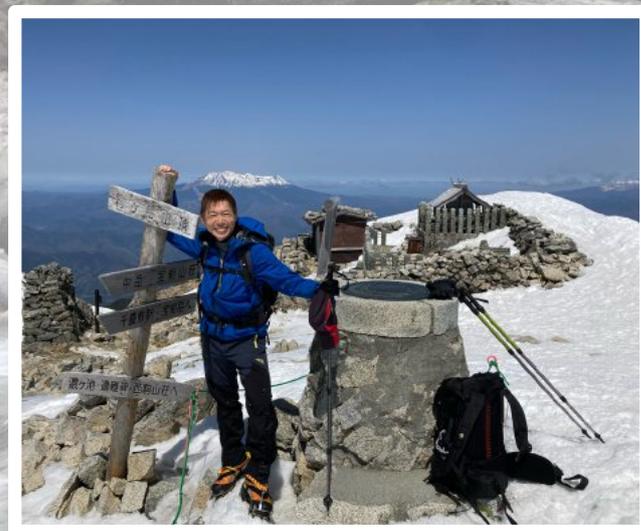
◆ 近況報告 南谷達郎 (H2卒)

2022年10月に結婚しました。(2回目)

19歳下の妻に敷かれつつ、支えられています。

今年は3月に北八ヶ岳の横岳(写真上)、5月に木曽駒(写真下)に行ってきました。

ポンチョさん(S35福井さん)に譲っていただいたアイゼンが活躍しています。ありがとうございました。



◆ 近況報告 池永龍平 (H7卒)

前回近況報告をしてから、もう10年経ってしまったようです。10年前は上の子が2歳くらいで、背負子で担いで山登りしている、というような報告をした気がします。

上の子は、今では小学六年生と大きく成長しましたが、自身の10年を振り返ると特に変化なく、仕事でドタバタしてただけ・・・

あとは酒ばかり飲んでおり山はご無沙汰、という状況です。10年前は「10年後は暇になって山登ってるかな?」と思っていましたが、甘甘でした。年々忙しさにターボがかかってきています。

今から10年後はどうなってしまうのか・・・

いつか登山に復帰するために、足腰だけは鍛えておかねば、と改めて思います。



◆ 近況報告 吉川正悟 (H24卒)

私は現在29歳となり、本原稿を執筆中の2023年6月に一児の父となる予定です。麻布の山岳部で登山していた頃を思うと、長いようで短い、あっという間の年月でした。大学生時代はワンダーフォーゲル部に入り登山を続け、部長も務めました。その部活の後輩が今の妻です。大学の実習中に強引に休みを取り、森さん、高野さん、岩城さんなど山岳部のobの方々と共に、往復10日ほどかけて中国の哈巴雪山（中国雲南省、5396mの山）に登ったりもしました。現在は卒後5年目となり、精神科医として病院で勤務しています。

麻布の中高時代に引き続き、刺激的な日々を送っています。また皆様にお会いできることを楽しみにしています。

会報の制作にもたついていたら、
その間に生まれてしまった
吉川一吹ちゃん(♀)、6/21生まれ→



いぶきです

◆ 会員動向

▶ 会員総数 206名 / 特別会員 13名

▶ ご逝去>岡田健さん (S36) / 斎藤昌毅さん (S52) / 鈴木順二さん (S46) / 小倉董子さん (特別) / 小林隆志さん (S33) ~ 心よりご冥福をお祈り申し上げます。

▶ 新会員5名>古川賢さん / 根津智和さん / 中村望さん / 中村瑠希さん / 畠山開登さん(以上R5)



写真は左から順に根津、古川、中村望。床に寝ているのが畠山

◆ お願い

・ 会費納入のお願い

2023年度の会費(¥2,000 但し、麻布卒業後5年間の学生会員は¥1,000)の納入をお願い致します。合宿参加など現役サポート活動を積極的に行うためには資金的裏付けは必要不可欠です。過去3年間で未納分のある方は本年度分と合わせ納入をお願い致します。

・ 同封の払込用紙をご利用下さい。銀行から送金の場合は：

銀行名：ゆうちょ銀行 / 店番:〇一九 / 口座;当座 0363867

・ ホームページへの写真提供のお願い

AACホームページに古い写真を掲載させていただきます。事務局までご連絡ください。



AACホームページ
<http://a-a-c.net/>

発行者:麻布学園山岳部OB会 / 2023年7月

事務局:小澤徹